

# 部活動支援モデル事業

---

活動報告会議 越谷アルファーズ

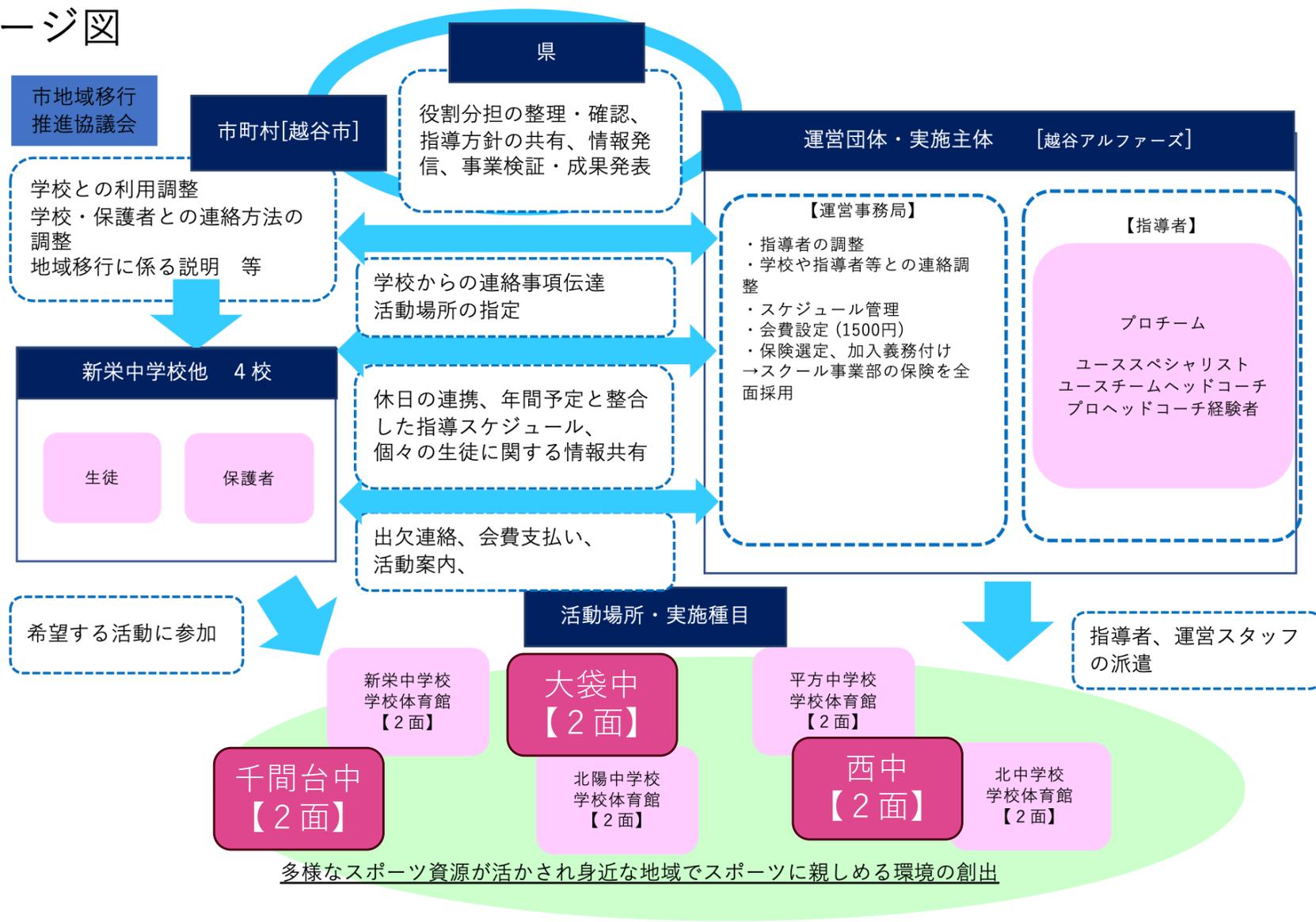


## 実施モデル 「競技向上」「他校との交流」 「多様な経験：試合運営体験」

---

- 委託事業申請者：越谷アルファーズ、埼玉県、越谷市教育委員会
- 実施主体：越谷アルファーズスクール事業部
- 役割分担：アルファーズ→競技指導、報告 越谷市教育委員会→学校との連携
- 対象：越谷市北部の中学校7校 バスケットボール部員 男女114名
- 場所：7校の体育館を使用 08:00-13:00まで
- 時間：男子08:30-10:30 女子11:00-13:00 30分で入れ替え
- 指導者：越谷アルファーズ プロコーチ(GM、ユースヘッドコーチ)
- 開催回数：10月-2月の間 10回開催 08:30-10:30, 11:00-13:00の2回
- イベント：無料試合観戦を2回予定 (保護者は特別優待価格)
- 受講者負担：3800円(スポーツ保険込み) × 114名 = 433,200円規模

# 事業イメージ図



# 実施モデル

## 年間スケジュール

時期	計画事項	備考
4月	関係者顔合わせ、方針の確認	
5月上旬	実施準備 各学校との打ち合わせ	
5月	各校長との打ち合わせ	
6月末	指導者とのヒヤリング会実施 保護者向けZoom説明会の実施	
7月	活動開始 活動後校長先生への報告	
12-1月	試合観戦	
12-1月	地域ミーティング報告	
1月	検討会議の開催(成果報告、来期に向けた検討課題の共有)	
2頭	事業完了報告書、成果報告書の作成&提出	県主催
2中旬	最終回実施	

昨年との違い、指導者へのヒヤリング、現地庁舎は新規学校のみ

準備

※越谷市教育委員会の大変なご尽力頂きました

---

1) 場所の確保

- 各学校長に主旨、見込める効果などを共有し、場所を貸して頂くお願いをする

2) 参加者

- 部活動の顧問の先生のご理解のもと、部員への連絡

3) 保護者への説明

- **Zoom**を使い保護者への説明会を行った

# 管理アプリ[BAND]登録

## 内容

- ・スケジュール管理
- ・当日の諸注意
- ・実施内容の共有
- ・アルファーズの情報など

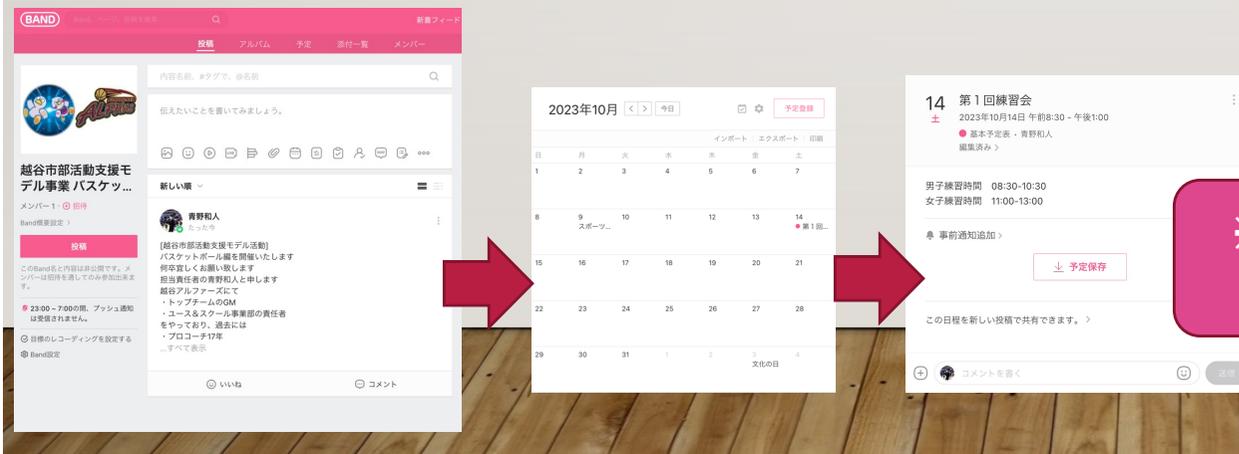


越谷市部活動支援モデル事業 バスケットボール

※出欠登録は親が行う

の参加を待っています。

QRコードをスキャンして参加しよう！



# 管理アプリ[BAND]活用 「出欠管理」 「共有」 「連絡」

## 内容 ・説明

## 報告

## チームの様子

**青野和人(越谷アルファーズGM)**  
2023年12月19日 午後4:49

【平方中学校 会場案内】  
今週土曜日の学校の案内です  
スケジュールに住所書いてあるので参考にしてください。  
08:00ごろから我々がスタンバイを始めます  
生徒が一人一人しっかりと挨拶が出来る素晴らしい学校でした！  
入り口：2つありますが向かって左の入り口になります  
...すべて表示



**青野和人(越谷アルファーズGM)**  
2023年12月4日 午前9:39

11/11 第3回部活動支援練習会  
フットワーク  
①ウォームアップ  
ドリブルのスキルに着手「2コンビ」、「インアウト」、「パンチドリブル」など  
※姿勢の話、ボールの位置の話、頭の位置の話  
②1on1ドリル  
...すべて表示



vs 青森  
我々はバスケが出来ることに感謝し、全力を注ぐ事が指名として戦います。  
ここまで全く予想と反し12敗。そのうち半分は接戦を落としている。怪我人を  
言い訳には出来ませんし、今回は状況によっては順位が入れ替わってしまう。  
年明けの気合いの入った練習は今日の出だしに良い影響を与えていきたいと思います  
相手は簡単にいうと「ガツガツ削ってくるチーム」プラスジョーダン選手という  
飛び道具があります  
...すべて表示



# 実施 10回をテーマに沿って

- 第1回「速攻に関して」速攻時のパス、シュート
- 第2回「リバウンド」身体の使い方、競り合い方
- 第3回「lonl」ハーフコート、速攻時でのlonl
- 第4回「3on3以上のグループ戦術」ドライブローテーションに対する攻撃
- 第5回「時間を意識した5on5」ゲームクロック、ショットクロックを意識
- 第6回「ゲーム戦術」目的を持った戦い方

終了後はレポートを校長先生へ共有

共に男子**35名**-女子は**34名**ほど

第1回部活動支援モデル事業 実施報告

越谷アルファーズ  
青野 和人

10/14 北陽中学校 男子 43名：08:30-10:30 女子 37名：11:00-12:00 実施  
※怪我人無く終えることが出来ました  
テーマ：「トランジションフェンス」  
基礎練習を交え、参加選手のレベルを鑑別し、適切なアプローチを目指した。  
「速攻」という新しい展開の中で判断する考え方とそこに繋がるスキル練習を行なった。  
講師：青野、小嶋、田中 監修：田中、小此木、鈴木

[メニュー]  
1) ストレッチャ→ボールハンドリング 15分程 (基本姿勢やリズムの話)  
給水 1分  
2) ステーション ドリル 20分×2 2グループに分かれて行う  
[グループ1] 2on1 ドリル  
→2on1のパスアタックからのフィニッシュ。パスの精度を習得  
→ハーフコート 2対1のラリー 考え方や判断力の強化  
※リングが故障で1つ使えなかったため、メニューを修正し、ハーフコートメニューに変更  
[グループ2] フィニッシュドリル  
→3種類のシュート習得を目指す  
→確認の意味で2on1も実施  
3) ゲーム 2ゴール先取のゲームを閉場  
2列に分け、先制から5人出る。2ゴール決まったらすぐ続きを再開

[生徒の反応]  
喋ってパスケットをする文化が少ない、目的意識を持って全力でプレーする選手が多く観られた。規律のあるチームと自発的にこなさなければいけないのが大きくあり、練習メニューの説明に時間が思ったよりも取られた。

[改善点]  
→足りない分のボールの持参、ピズス案内(男子)、ゲーム形式の時に指導頻度を増やす。

[大変だったところ]  
→特定のチームのみこちらの定めたサイトに登録出来ない生徒、振り込みができていない生徒が数名  
→次回11/11(土)はリバウンド、をテーマに考えています(試合のレベル分け)



第4回部活動支援モデル事業 実施報告

越谷アルファーズ  
青野 和人

12/25 平井中学校 男子 31名：08:30-10:30 女子 33名：11:00-13:00 実施  
※怪我人無く終えることが出来ました。  
テーマ：「チーム戦術」  
これまで様々な技術アップが重なったので、4回目以降はグループ戦術として「ドライブローテーション」や「スペースを使った戦い方」を理解してもらいながら考えてパスケットをできるように強化した。

講師：青野、小嶋 監修：田中

[メニュー] ウォームアップの後  
1) 男子「ハンドリング、2人パスの練習」 女子「2人の合わせシュート練習」  
2) 2つに分かれる  
→[グループ1] 4人のスペースリングのシューティング  
→ハーフコート 4on4  
→[グループ2] ドライブアクションの2on2  
3) ゲーム 2ゴール先取のゲームを閉場  
2列に分け、先制から5人出る。2ゴール決まったらすぐ続きを再開  
※自己申告で2つのレベルに分けた

[生徒の反応]  
認知訓練に男子の成長と意欲的に参加が見られ、とても良い内容でパスケットができていた。個人練習時に何を意識して練習したら良いかのレクチャー時には発言もあり、とても良い雰囲気であった。  
→その反面女子は少し遅刻ややる気のない態度などが出てくるようになった。推薦校の子に遅刻してることなので、さらにフォーワードに気持ちの引き上げを後で出来るように心がけてます。



## 実施 試合観戦

- 練習時にチケットのやり取り
- 各自自由に観戦
- 2階席の案内
- 100名ほどの参加

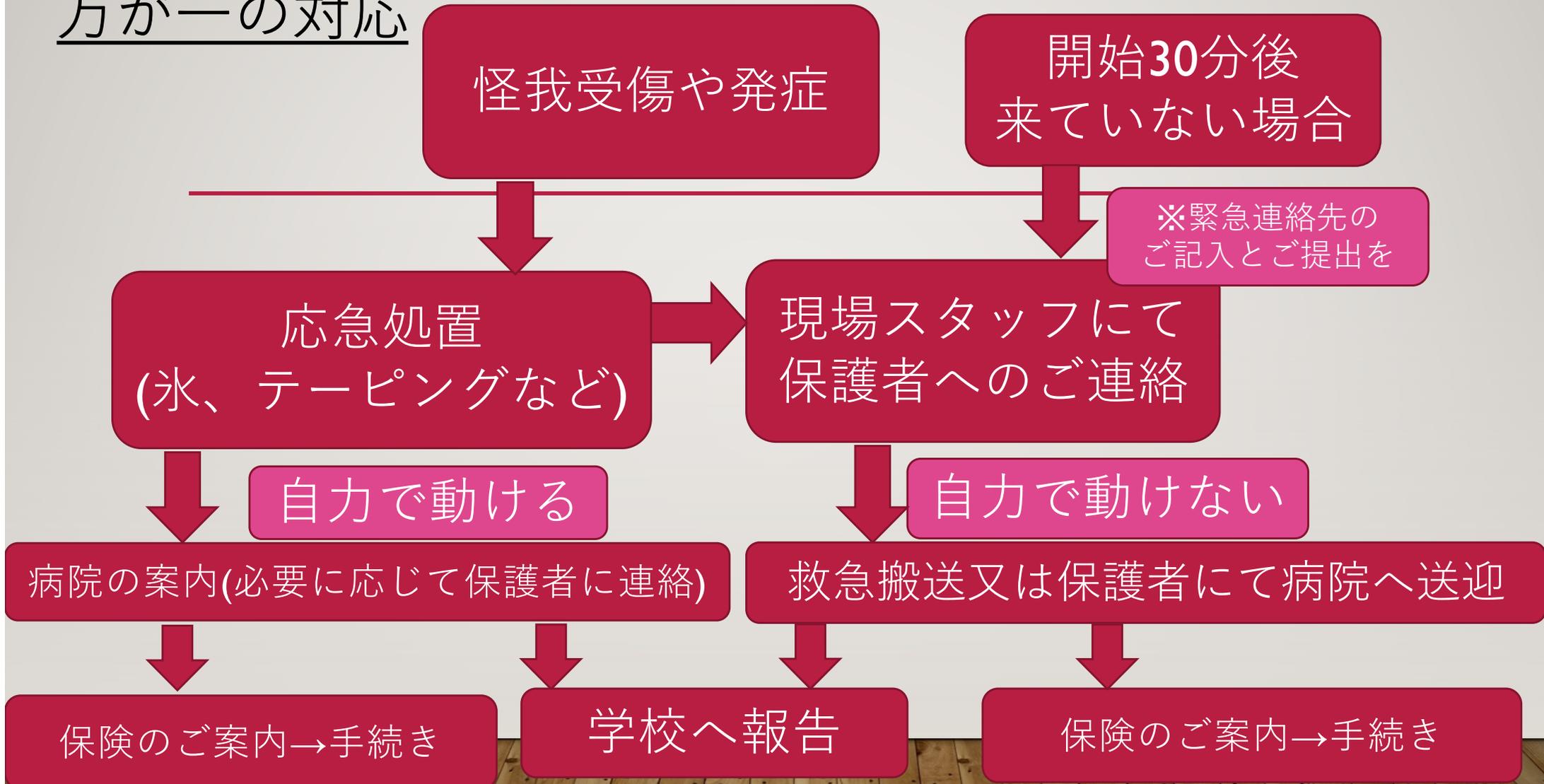


**プロの選手の振る舞い、  
スキルを直に見て学ぶ**

**試合観戦の一体感から  
チームスポーツを学ぶ**

- 家族でお越しになる家庭と友達同士でグループで観戦などそれぞれの使い方があった

# 万が一の対応



## 改善点①

---

- **指導者との連携**

ヒヤリングは効果的→内容の改善、指導者の見学など

今年加わった学校の部活動を優先する学校があり、参加に非協力的→7名の実施などもあった

**費用**：負担額3800円は持続可能にするためには改善すべき(70%の参加率)  
自走するには8000円規模にならないと厳しい(それでも1回800円は破格)

例) アルファーズクリニック 1回 3000円

試合チケット 最低1枚2000円価格×2

## 改善点②

---

- **モチベーションの維持**

1回目は女子が高く、男子はあまり乗り気ではなかった  
→3回目から逆転現象。女子が慣れて怠慢に、男子はまとまり強く盛り上がる

- **Bandのアプリと集金方法**

未入金が多く、追いかけるのが業務負担となった。3ヶ月経って残り4名  
※振り込みの名前や期限を守らない方がかなり多かった

## 良かった点①

---

- **上達の特徴**

- 特に初心者の成長が著しくレベル差がなくなった。

理由：自主練習の方法を伝授→部活動の合間に練習

- 他校との交流で目標ができ、共に成長したい空気作りが出来た。

- **個別の意識の変化**

- 基本的に上達を見つけ、褒めることを強調指導→気持ちを開き、ミスに対して怖がらず、思い切ってトライするようになった

## 良かった点②

---

- **試合観戦効果**

- ・ 試合前のワークアウトや、シュートの上手い選手からの感覚を目で見て吸収し、楽しんでまねをして上達につながっている
- ・ プロの試合の運び方「目的を持った戦い方」「時間の使い方」「ディフェンスの重要性」など本格的な試合から学べた

- **保護者との連携や報告**

- ・ **Band**を通じて、指導内容を共有したり、普段のトップチームの様子や考え方に触れる機会からお子様の好きな競技への理解へと繋げている

# 今後

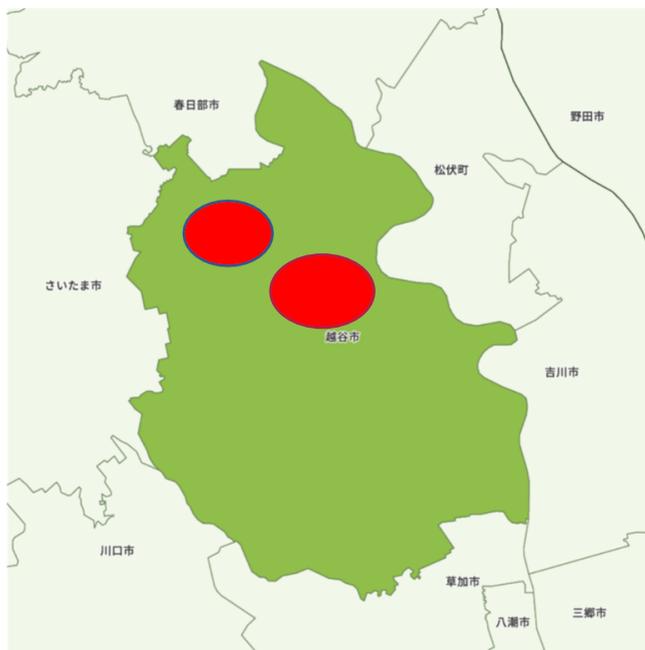
---

- 同様の活動を他の地域でも展開できれば  
→時期をバスケットシーズンにしなくても良い
- プロチームということで、スポンサーと繋げたりしてwinwinの形も可能か  
→栄養面のサポート(補助食)や学習(塾)に関する事など

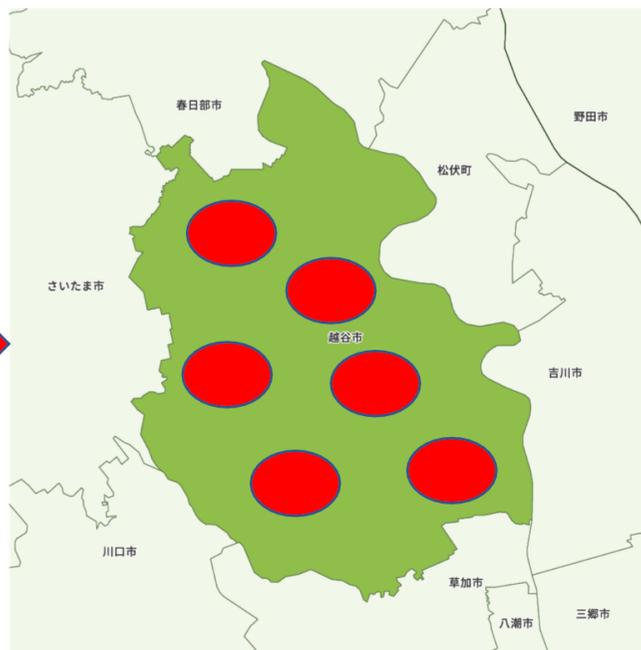
# 活動展望

2024-25 に実施するモデルケースを参考に  
次年度からは6カ所に増やし、3-4校を合同実施して越谷市全  
ての中学校の部活動へのサポート体制を整える

2024-25



将来



練習だけでなく、試  
合を目的としたイベ  
ントも企画していく

意欲のある指導者に  
も指導者講習会も  
実施可能

ありがとうございました

---

